

師走に入り、今年も残すところあとわずかとなりました。読者の皆様の一年はどんな年だったでしょうか？

さて、来る九月(土)、十日(日)の両日、日本代替・相補・伝統医療連合会議と日本統合医療学会が愛知県知多郡東浦町の「あいち健康プラザ」にて合同大会を開きます。私たち自然医学総合研究所も賛同し血管年齢測定や抹消血流測定のほか血液画像分析などの無料体験が出来るように企画いたしました。一般参加も可能ですので、関心がおありの方は、万障お繰り合わせの上お越しください。

がんの盲点で、私も最も矛盾を感じていることは、原因を解明するための専門機関やシステムが国にも自治体にも存在していないという点です。



師走に入り、今年も残すところあとわずかとなりました。読者の皆様の一年はどんな年だったでしょうか？

がんの盲点で、私も最も矛盾を感じていることは、原因を解明するための専門機関やシステムが国にも自治体にも存在していないという点です。

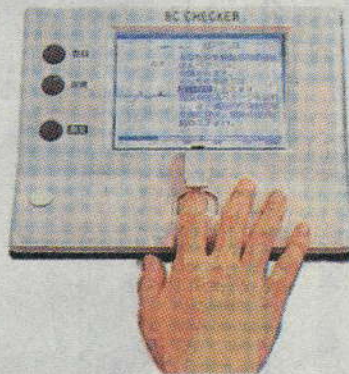
自然医学総合研究所所長

## 大沼 四郎

# 自然治癒を科学する

の作用によって増減しています。また、抗体(免疫グロブリン)という蛋白質をつくらせて非自己だけを狙って攻撃する獲得免疫をつくらせて守っているのです。

通常は、マクロファージが5%、リンパ球は35%、顆粒球が65%の割合ですが、交換神経を過剰に刺激して攻撃態勢になることで顆粒球は増殖します。ま



指を乗せて約20秒で、血管や脈の状態なども検出することができるBCチェッカー

で確認すると一目瞭然と病に犯された時のほ

を紹介します。愛知県在住の男性(54歳)は、平成十八年八月に肺がんと診断され代替療法を選択しました。男性の術前に調べた血管年齢は実年齢よりも二十一歳上の七十五歳という結果で

したが、術後は三歳上の五十七歳まで改善されたことが確認されました。血管年齢からみると、がんや腎不全や他の難病に罹患している時は、平均二十年から三十年ほど実年齢より上回っているのが現状です。しかし、快方に向かう方の平均は実年齢よりも二十歳ほど若い状態で測定されています。

調症、冷え、頻回排尿、痛みやしびれが長引くなど不安な方は、早めに相談してください。(名譽医学博士・生化学博士・平成11年度社会文化功労賞受賞・ナチュラルケアセンター院長)

## がんの盲点⑪

た、ゆっくりして落ちていくことで、顆粒球は減少し、リンパ球が増えることが知られていますが、残念なことに、医療の現場では、完全に盲点となっています。

愛知県在住の男性(54歳)は、平成十八年八月に肺がんと診断され代替療法を選択しました。男性の術前に調べた血管年齢は実年齢よりも二十一歳上の七十五歳という結果で

したが、術後は三歳上の五十七歳まで改善されたことが確認されました。血管年齢からみると、がんや腎不全や他の難病に罹患している時は、平均二十年から三十年ほど実年齢より上回っているのが現状です。しかし、快方に向かう方の平均は実年齢よりも二十歳ほど若い状態で測定されています。

調症、冷え、頻回排尿、痛みやしびれが長引くなど不安な方は、早めに相談してください。(名譽医学博士・生化学博士・平成11年度社会文化功労賞受賞・ナチュラルケアセンター院長)

がんばかりではなく、アトピー性皮膚炎などに罹患している方の血液を血液画像分析

したが、術後は三歳上の五十七歳まで改善されたことが確認されました。血管年齢からみると、がんや腎不全や他の難病に罹患している時は、平均二十年から三十年ほど実年齢より上回っているのが現状です。しかし、快方に向かう方の平均は実年齢よりも二十歳ほど若い状態で測定されています。

調症、冷え、頻回排尿、痛みやしびれが長引くなど不安な方は、早めに相談してください。(名譽医学博士・生化学博士・平成11年度社会文化功労賞受賞・ナチュラルケアセンター院長)

調症、冷え、頻回排尿、痛みやしびれが長引くなど不安な方は、早めに相談してください。(名譽医学博士・生化学博士・平成11年度社会文化功労賞受賞・ナチュラルケアセンター院長)

### 講演会のお知らせ

講師：大沼四郎 自然医学総合研究所所長 ナチュラルケアセンター院長 平成11年度社会文化功労賞受賞 生化学博士・名誉医学博士

開催日：12月17日(日) 名古屋市東区ウィルあいち2F 特別会議室 入場無料

テーマ：がんの盲点(12) 「がんと血管年齢」

時間：午前10時開演午後4時30分終演

主催：民間非営利団体 国際自然免疫学会

共催：自然医学総合研究所

申し込み：自然医学総合研究所 TEL 052・801・7063 まで

特典：血管年齢の無料体験

### 問い合わせ

電話

052・801・7063

Eメール

shiro@nrt.ne.jp

URL

http://www.nrt.ne.jp